



アンディ・ウォーホル・キョウト
ANDY WARHOL KYOTO

と き／9月17日(土)～2023年2月12日(日) 10:00AM～6:00PM
 ところ／京都市京セラ美術館・東山キューブ(祝日以外の月曜と年末年始休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334

ポップ・アートの旗手として、アメリカの大量消費社会の光と影を描いたアンディ・ウォーホル(1928-1987)の初期から晩年にわたる大回顧展。1950年代に商業イラストレーターとして活躍していた初期の作品から、1960年代に事故や死を描いた象徴的な「死と惨事」シリーズ、アンダーグラウンド映画やテレビ番組などの映像作品、セレブリティ(有名人)たちの注文肖像画、そして、その名声を揺るぎないものとしつつ、カトリックの生い立ちにも触れる晩年の作品などを包括的に展示する充実した内容の本展は、京都だけの開催。



「Three Marilyns」
 1962年
 (アンディ・ウォーホル美術館蔵)



「自画像(髪が逆立ったかつら)」1986年
 (アンディ・ウォーホル美術館蔵)

ウォーホルは、1956年の世界旅行中に初めて来日し、京都を訪れた。本展では、京都とウォーホルの関係に目を向け、そのゆかりを示す貴重なスケッチなどを展示し、若き日のウォーホルの心を捉えた京都の姿に思いを馳せる。アメリカ・ピッツバーグのアンディ・ウォーホル美術館の所蔵作品のみで構成される日本初の展覧会であり、約200点+映像15作の展示作品のうち、100点以上が日本初公開作品。

山口華楊 一いのちに心よせて

と き／10月8日(土)～11月23日(祝) 9:30AM～5:00PM
 ところ／京都府立堂本印象美術館(祝日以外の月曜と10/11休館)
 京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

山口華楊(1899-1984)は、最初西村五雲に師事、京都市立絵画専門学校を卒業すると竹内栖鳳の画塾竹杖会に参加した。京都画壇の写生の伝統を受け継ぎ動物画の名手だった五雲から学んだ瀟洒な感覚と鋭敏な写実性を新たな表現へと発展させた。生き物を慈しむ眼差しと高い品格、加えて知的な構成力と静かな空気感は、華楊ならではの魅力と言える。



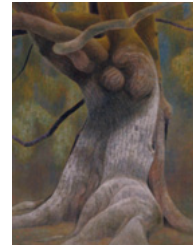
「幻化」1979年
 (SONPO美術館収蔵)

堂本印象(1891-1975)と華楊は、同じ京都衣笠の地を活動の拠点とし、印象は画塾東丘舎を主宰、華楊は五雲亡き後の晨鳥社を研究団体として再興し、戦中・戦後の京都画壇を牽引してきた。

ぬくもり溢れる華楊芸術の世界を、印象自らデザインした堂本印象美術館で展観するというこの機会を是非お楽しみ頂きたい。



「黒猫」1954年
 (個人蔵)



「樹」1963年
 (京都市立芸術大学芸術資料館蔵)

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
		土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月			
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	池大雅と玉瀾										ある画家による京都 西川純の素描																→12/11							
		トナリド・キーン生誕100年記念 トナリド・キーンと画家・井澤元一										近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝12 / 京都洋画新人展 1967-1975																→12/4							
	3F	新選組展2022-史料から辿る足跡																														→11/27			
	4F																																		
	5F	創部86年 京都大学 写真部OB展							第18回 京都ウォーク 素敵なニット展			第39回 龍雲会書 展			ソネット 落語会			SKY ふれあい 作品展 2022			京の名工展						選抜 京都墨彩画壇 秋季展			書 十月の会展			徳田嘉孝作品展		
		第41回 聚英展						麻生喜美子 レリーフ彫刻展									第38回 文化書道近畿 連合会展			別館→			京焼・清水焼伝 統工芸士会40 周年記念展 「古都のWAZA」												
6F	音楽会										音楽会			音楽会			音楽会			音楽会			音楽会			音楽会			音楽会						
別館	音楽会										音楽会			音楽会			音楽会			音楽会			音楽会			音楽会									
京都学・歴史彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831											休館			休館																					

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
		曜	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月						
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F	ルートヴィヒ美術館展 20世紀美術の軌跡－市民が創った珠玉のコレクション															→1/22																						
	4F	← 2022年度 第3回コレクション展					2022年度 第4回コレクション展																		→1/22														
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		特別展 京（みやこ）に生きる文化 茶の湯															→12/4																						
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	コレクション	秋期 特集「身体、装飾、ユーモラス」															→11/13																						
	本館	ポテロ展～ふくよかな魔法															→12/11																						
		サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史															→12/11																						
		第57回 主体展	第43回 美工作品展					京友禅きもの芸術展 第13回「写楽彩」 フォト・アート・クラフト展					日本山岳写真協会 関西支部展					第85回新制作展																					
	東山 キューブ	アンディ・ウォーホル・キョウト / ANDY WARHOL KYOTO															→2/12																						
	別館 1F	令和4年度 京都市功労、 児童・生徒作品 展及び姉妹都市 交換作品展						第49回在日朝鮮学生美術展 京都展					第32回国創展					第14回京都写真倶楽部 連盟展																					
別館 2F	第24回新陶彫京都展					第33回集団AUF展					第36回京都芸術祭美術部門 国際交流総合展					第41回ザ・スペース展																							
京都府立 文化芸術会館 河原町立病院前 222-1046	1F	公衆京都現代 水選選抜展	第52回京都写真家協会 展					2022青美・秋季展					ファミ展					第48回京水会丹青展																					
	2F	秀朋会 書展	京都自由写壇展										篁会書展					○9 南瓜絵画展 (日本画)					第一美術関西展 (美工総合)																
	3F																岩倉展 (美総合)																						
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		展示替え休館					特別企画展 「山口華揚－いのちに心をよせて－」															→11/23																	
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311																																							
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	第16回 個の地平	白と黒 光と影					広田 稔展 -50冊のスケッチブック-					～うるしたのし～ 四代 三木表悦 襲名記念展					還暦記念 有本空玄 作陶展																					
	美術工芸 サロン	中村宏太郎 陶展	高山 大 陶展					中本若枝 展					中野悟朗 陶展					福井江太郎 日本画展 -薔薇と遊ぶ-																					
	グランド ホール																																						
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	下平大輔展 -廃棄藝術-	喜寿記念 三代加藤利昇 茶陶展					楠堂葵 水彩画 -おさんぼ-					加國哲二 絵画展					佐藤潤 絵画展 ～あらたなる花鳥百獣の世界					→11/1																
	アート サロン	河野迪夫 金属造形展	陽だまり－猫の散歩道－ 河野文春 水墨画・花鳥画 作品展					矢直直彦 作陶展					森本 仁 陶展					前田和子 日本画展					→11/1																
	ミュージアム	とびだせ！ 長谷川義史展																																					
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		八木 明 陶の流れ（月曜休廊）															→11/25																						
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		2022年度保存修復事業に伴う長期休館（2023年春まで）																																					
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		美術館「えき」KYOTO開館25周年記念 シグナルとマルタン展 最後の印象派															→11/6																						
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
		曜	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月						
芦屋画廊 KYOTO 左京区 鎮 町 357-8 754-8556		常設展																																					
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		深田充男展 Energy (月曜休廊)															手作り アート マルシェ																						
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		貸ギャラリー受付中																																					
アートスペース柚（ゆう） 東山区二条通東山西入 090-6916-5353		沖谷晃司 小品展 花や猫や女性や… (11日・17日休廊)															閑林宏祐展 (日本画)																						
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		展示会予定										展示会 予定					五人展					ジョイ展																	
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		新版画展 -巴水・博・紫浪・竹二ほか- (15・16日休廊)																																					
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		常設展																																					

Ⓔ: 企画および常設を中心に活動する画廊 Ⓕ: 貸画廊

[今月の展覧会より]

甲斐扶佐義写真展

刹那拾遺 一日々のあわいに

と き／10月7日(金)～23日(日) 1:00PM～6:00PM

ところ／ギャラリー宮脇 (10/11、10/17休廊)

京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

甲斐扶佐義(1949～)がレンズを向けるのは、国際的観光都市、京都の風景。しかしそれは異郷人の視点で語られる名所や観光地の類いではなく、路地裏に息づく人々の生活、飾り気のない日常の光景だ。ときに昭和の記憶を残すような、日本人の心に懐かしく響く人々の佇まいが、異次元の予兆をひらめかせながら写し留められている。撮り溜められた膨大な日々の記録は、数多の写真集となって出版され、その仕事は国内外でも注目を集めてきた。

19年にはフランス国立造形芸術センターのパスカル・ボースのキュレーションにより、二条城での回顧展「京都詩情」が実現したことは記憶に新しい。

昨年刊行された『甲斐扶佐義評論集・路上の人』には、写真家の作品と人柄を敬愛する学者や研究者、アーティストら約70人からエッセイが寄稿された。

本展ではゲストキュレーターに神保京子(美術評論・写真史)を迎え、1970年代から2000年にかけて撮影されたヴィンテージプリントを中心に50余点を展示する。

尚、10月10日午後3時から「神保京子と飯沢耕太郎(写真評論家)によるトークイベント」を開催する(要問い合わせ)。



〈初代出町郵便局長の娘・橋本姉妹 寺町今出川付近〉
48.7×44.6cm 1977年



〈店頭を掃く少女/青龍町
上京区河原町今出川上ル〉
37.3×55.8cm 1978年



〈中京区先斗町ネコ公園〉
13×17.6cm 1996年

荒瀬隆造油彩画展

と き／10月8日(土)～10月14日(金) 11:00AM～6:00PM

ところ／御池画廊(最終日は5:30PMまで)

京都市北区小山上総町20-2 ☎075-492-3083

絵空事

窓を開き 気持ち良く空を眺めよう

深く呼吸をしてみる 想いが巡る

いつか どこか なにか 重ね合わさる

一粒の始まりから すべて生まれたように

絵と言の間に空が見える 絵からは空が見えるだろうか

風景画、静物画を展示します。ゆっくりご高覧くださいませ幸いです。

荒瀬隆造

荒瀬隆造略歴

- 1958 広島県三次市に生まれる
- 1977-78 伊庭洋画研究所(伊庭新太郎氏主宰)にて学ぶ
- 1982 京都市立芸術大学美術学部卒業
- 1982-83 大徳寺洋画研究所(青木敏郎氏主宰)にて学ぶ
- 1983, 85, 87, 89 東京セントラル美術館大賞展入選
- 1986-2022 反核・平和のための小作品展 出品
- 1986-91 BAO芸術祭 参加 出品
- 1993-2019, 22 新美展 出品
- 1994-2017 個展(三越/名古屋・広島・高松・仙台など)
- 2008～10, 12, 14, 16, 18, 個展(御池画廊)



「山の教会～聖マルグリッド教会
レコー/フランス」 F8



「3つの柘榴と2房の葡萄」 M6

〔今月の展覧会より〕

「ジャパニーズモダン・江戸から現代へ-2022」シリーズ③

今尾栄仁新作展 一集一

と き／10月4日(火)～10月23日(日) 12:00～6:00PM

と ころ／ギャラリー白川 (月曜休廊)

京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

今尾は岩絵の具、顔料、膠などの日本画の素材をベースに独自の技法を用いて、森の木々や水の流れ、風や空が繋がり合う自然の中にある気配を心の中で熟成させ、そこから滲み出てくる心象風景をテーマに、描き続けてきました。近年そのテーマは、宇宙の中の相似的な世界の表現へと広がりはじめています。自然界の美しさを日本画の画材を使ってどう描き表わすか。今尾が追いつけるテーマです。

ギャラリー白川では3回目の個展。現代アトうちわ展は第18回(2018)からの参加です。作品はハガキサイズから100号までの多くの石のような作品を約100点展示いたします。展覧会場では、作家の歩んできた資料を動画にご覧いただけます。また、展覧会の動画を制作、YouTube配信いたします。どうぞ、ご高覧くださいませ。



「小さな石たち」20×17cm
岩絵の具、顔料、膠、寒冷紗



「プロミナンスのように」50号 1920年
岩絵の具、顔料、膠、寒冷紗



「いし」と「星と」30×30cm
岩絵の具、顔料、膠、寒冷紗



「集合」68×68cm
岩絵の具、顔料、膠、寒冷紗

ボテロ展～ふくよかな魔法

と き／10月8日(土)～12月11日(日) 10:00AM～6:00PM

と ころ／京都市京セラ美術館 (10/10以外の月曜休館)

京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334

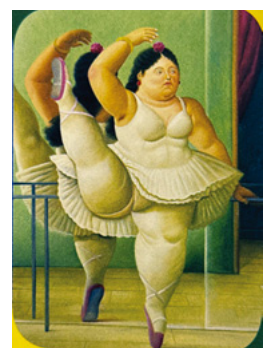
南米コロンビア出身の芸術家、フェルナンド・ボテロ (1932～)。1950年代後半から欧米で高く評価され、今日では現代を代表する美術家のひとりに数えられています。ボテロ作品を特徴づけているのは、あらゆるかたちがふくらんでいるということ。人物も動物もふくよかで、果物は熟れきっているかのように膨らみ、楽器や日用品さえも膨張しています。ボリュームを与えられた対象には、官能、ユーモアやアイロニーなど複雑な意味合いが含まれ、観る人のさまざまな感覚に力強く訴えかけます。それは世界中で注目され続けるボテロ独特の「魔法」ともいえます。



「象」(部分)
2007年



「通り」(部分)
2000年



「レッスン中のバレリーナ」
(部分) 2011年

南米だけではなくヨーロッパや北米、アジアでも大規模展が開催され、世界各地で人気を博しているボテロ展ですが、日本国内では26年ぶりの開催となります。2022年、生誕90年の記念すべき年にボテロ本人の監修のもと、初期から近年までの油彩ならびに水彩・素描作品など全70点で構成される本展は、ボテロとの新たな出会いを生む貴重な機会となることでしょう。

心奪われるあざやかな色彩と、ふくよかなフォルム。あなたがまだ知らない「ボテリズム」を体感してください。

深田充夫展 Energy

と き／10月11日(火)～10月23日(日) 11:00AM～6:00PM
 ところ／アートギャラリー博宝堂(月曜休廊)
 京都市左京区岡崎神宮道東側 ☎075-771-9401

生命のエネルギーをペン画と陶彫で単純明快に表現した。私は病気を患い立ち直った時に、今まで以上に命の尊さ、自分が生かされているということを感じた。芸術家は作品に命を吹き込むなどして制作をしているわけだけれども、線幅0.5mmのペンを使って大きな画面を塗りつぶすという私の行為は、自分が生きている、生かされているというエネルギーであり、ペン画「繋がる形」は金属のペン先を通して平面を彫刻するかのようゴシゴシと無心に塗り続けて描いた。そして、今回、命にとって大切な「水」の一滴を造形化した陶彫作品にも挑戦した。彫刻であるが花器としても使えるように考えて作っている。その色彩は、内に秘められてた自然の美しさや厳しさを、芸術家として、釉薬を絵画的に表面にぶつけるようにして表現した。

深田充夫

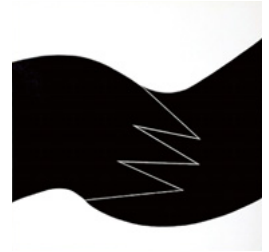
*ペン画の他に彫刻を十数点展示します。

彫刻家 深田充夫 略歴

- 1956 滋賀県に生まれる
- 1978 京都精華短期大学立体造形専攻科卒業
京展 '78 市長賞/京都市美術館
- 1981 第2回ヘンリー・ムーア大賞展 優秀賞受賞
- 1983 第10回現代日本彫刻展/山口県
第3回ヘンリー・ムーア大賞展 メケ原高原美術館賞受賞
- 1993 第1回フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展特別優秀賞受賞
- 1996 彩の国さいたま彫刻パラエティ '96 大賞受賞
- 2000 丸の内仲通り彫刻展(三菱地所、箱根彫刻の森美術館選定)
- 2002 紺綬褒章受章、守山市社会功労章授章 第8回KAJIMA彫刻コンクール 金賞受賞
- 2002-03 京都造形芸術大学美術工芸学科彫刻コース非常勤講師
- 2003-09 紺綬褒章受章
- 2003-05 京展賞受賞
- 2003-06 2006北京オリンピック彫刻コンクール Nomination Award受賞/中国
- 2012 第22回ACA賞 優秀賞受賞/日本建築美術工芸協会
- 2013 彫刻家 深田充夫展 石、水と大地/ドイツ
- 2012, 2014 第15回世界湖沼会議参加(ペン画)/イタリア
- 2016 滋賀県文化賞受賞
- 2021 秀明文化賞受賞/MIHO MUSEUM 他



ペン画「繋がる形 あ」
80.3×80.3cm (S25)



「繋がる形 い」
80.3×80.3cm (S25)



「繋がる形 う」
80.3×80.3cm (S25)

吉田晴夫展

と き／10月14日(金)～10月19日(水) 12:00～6:00PM
 ところ／ギャラリー Space妙
 京都市左京区松ヶ崎堀町1-1 ☎090-6605-0656

若い頃、フランスに行くことが、画家になる始めと思っていた吉田は、1976年初夏、横浜より出港。ナホトカ、モスクワ、トビリシ、トルコ横断、ミュンヘン、ストラスブルグからフランス入国。ランス経由パリに着く。

マルセイユ及びパリ高等美術学校で学ぶ。帰国後、京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。

公募展(京展1974年～、二紀展1982年～)や個展に出品を続け、2015年に汎具象美術協会に加わり、現在に至る。

中でもスポーツを題材に大胆な動きを捉え、洗練された色彩で、簡潔な表現を追求した作品が个性的である。

意欲的に制作を続ける吉田に期待をもって今後も大いに注目していきたい。



「がっぶりよつ」2022
F4号

〈作家略歴〉

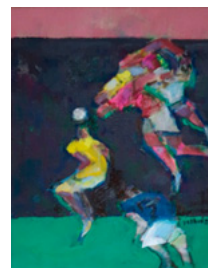
- 1976-78 仏政府給費生として、マルセイユ及びパリ高等美術学校留学
- 1977 サロンド・トンス 入選
- 1982 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了
- 1982 京展(紫賞)
- 1999 二紀展(二紀賞)
- 2019 汎具象展(京都市知事賞)
- 現在 汎具象美術協会 会員

〈主な個展、グループ展など〉

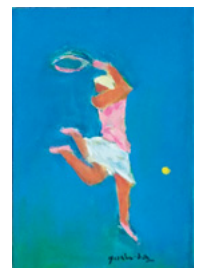
- ギャラリー三条他(京都)
- るーぶる愛知川(滋賀)
- 光画廊(東京)

5人の日本人画家展、リングアート、絵画・9つの展開、他グループ展など多数

〈作家連絡先〉京都市北区紫野十二坊町7-18



「ヘディングシュート」
F6号



「テニスプレイヤー」
(SM)

〔今月の展覧会より〕

京の女匠陶画展 —繋ぐ 繋がる 繋げる—

と き／10月21日(金)～11月2日(水) 10:00AM～6:00PM
ところ／京都陶磁器会館2Fギャラリー (最終日5:00PMまで)
京都市東山区東大路五条上ル遊行前町583-1 ☎075-541-1102

京都の色絵を制作する作家・職人の組合「京都色絵陶芸協同組合」では、現在40代から80代までの女性絵師9名が活動されています。

女性がひとつの仕事長く続けることが難しい中で、60年、65年と描き続けておられる絵師の方がいらっしゃる、そのような方々とこれからの若手がともに活動できるということは奇跡と言っても過言ではありません。

本展では、京焼・清水焼の女性絵師の先駆けとなった方々から現在の中堅、そして若い世代へ「繋ぐ」をテーマに、各作家の作風や変遷をお楽しみいただける旧作・近作や、この展覧会を楽しみにしておられた故・入江ヒロコ氏の作品も展覧いたします。

また、展覧会期間中には、本金・本銀を使った絵付け体験ワークショップを10/22(土)、23(日)、29(土)、30(日)の4日間実施いたします。(1日先着20名様まで。焼成希望の方は別途有料となります。)

9名の作家の作品から京焼・清水焼の女性絵師たちの過去、現在、未来を見て、感じていただけますと幸いです。



京の女匠 作品

〔出展作家〕

女匠会 小関弘泉
寺田嘉扇
田中聖子
空女
西條寿香
小垣和子
高畑竹邑
橋本加光
高橋亜希



小関弘泉「喰籠アイヌ文様」



田中聖子「染付輪花唐子図鉢」



寺田嘉扇「角皿金銀彩青海波紋」

京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展 「うつしのまなざし」

川田知志 | 入江波光、岩井弘、岩倉壽、木下章、林司馬、宮本道夫

と き／9月17日(土)～11月6日(日) 11:00AM～7:00PM
ところ／京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (月曜休館)
京都市中京区油小路通御池押油小路町238-1 ☎075-253-1509

京都市立芸術大学芸術資料館には、明治期から教材として用いられてきた絵手本や、粉本類(下絵、模本、写生など)が数多く収蔵されています。学生たちは、描き手が何を表現しようとしたのかを読み解きながらこれらを写すことによって、描画の基本を学びました。この「うつし」による学びのあり方は、大正から昭和にかけて、古画の模写研究を熱心に行った入江波光、林司馬らによって、独自の絵画表現を生み出すための模写教育へと発展していきました。そして、模写対象は日本の古画だけにとどまることなく、画家たちの学びの意欲は世界中へと広がります。たとえば林司馬の後任として模写の教員となった岩井弘は、フレスコ画と日本画の類似点に着目し、1970年代、二度にわたって当時日本画の教員であった岩倉壽、木下章とともに、イタリア・トレヴィーゾ市立美術館の所蔵であるトマソ・ダ・モデナのフレスコ壁画《聖オルソラ物語》を日本画の画材を用いて模写しました。

本展では、この《聖オルソラ物語》の6作品を中心に、本学の模写教育に携わった画家たちの模写作品を取り上げ、それらにあらわれた「うつしのまなざし」について考察します。現代に生きる表現者として、彼らのまなざしへの応答を絵筆によって試みるのは、フレスコ画の技法を用い、都市空間と人との関係性について壁画表現を通して考察してきた川田知志です。川田は近年、フレスコ壁画の移設技法「ストラッポ」(壁から絵を剥がして別の下地に貼り付けて移動させる技法)など、壁画を解体し、移動させて再構築することで、空間と時間との二つの側面から切り離して仮設的な状態を生み出す表現に取り組んできました。本展会期中の毎休館日に、川田は模写作品と対峙しながら、その手を動かし続けます。画家は何を見て、何を感じ取り、何を表現しようとするのか。先人と川田の「うつしのまなざし」が、100年余り、あるいは模写作品の原本が描かれたもった昔からの時間のなかで交差し、展示室のなかに新たな光景として次々に映し出されていきます。

出品予定の芸術資料館収蔵品：

岩井 弘《殉教の図》(1974、77)
岩倉 壽《オルソラの家族》(1974)、《巡礼への航海》(1977)
木下 章《ローマ法王との謁見図》(1974)、
《オルソラと仲間たちのローマへの航海》(1977)

(上記6点の原本：トマソ・ダ・モデナ《聖オルソラ物語》、トレヴィーゾ市立美術館、イタリア)

木下 章・岩井 弘・岩倉 壽・宮本道夫《女史箴図巻(伝顧愷之)》(1977 | 原本：大英博物館、イギリス)

入江波光《十二天像 水天像》(1912 | 原本：京都国立博物館、京都)

林 司馬《法隆寺金堂六号壁観音菩薩像》(1948 | 原本：法隆寺、奈良)

ほか



出品作家の制作風景

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
企	延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	東敬恭展 (ガラス) (木曜休廊)		休廊			松谷文生展 (陶芸) (木曜休廊)												休廊		水野幸一×みずのみさ展													
企	御池画廊 北区小山上北上総町20-2 492-3083	洋画・日本画常設展 (土日祝休廊)					荒瀬隆造展					洋画・日本画常設展 (土日祝休廊)																						
企	カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画・洋画常設展																																
企	画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																																
企	画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日祝休廊)																																
貸	ざおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	情熱の画家 安食玄洋絵画展					蒼蒼会4 代表 国友哲之輔					アトリエ和展 杉浦和子					天然石と花の インテリアアート展 田中重紀子																	
貸	喜聞堂アートスペース余花庵 中京区寺町通御池上ル 212-9793	Dara Collection 京都人のための ペーパーアート展		毛氈林(ちやくじりん) 毛氈 (篆刻と書)					池端邦輔 油彩画展					吉島伸一鍋島織通 株式会社 本家鍋島織通展					第27回 早蕨会書展															
貸	ギャラリーM 中京区錦雲師高倉西 221-0979	邦楽とペリーダンスを描く展 同時展「旅を絵にする ヨーロッパ中東編原画展」 松本祐佳																																
貸	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	編み夢 2022		第17回 京睦展					第32回 織と染 in祇園					陸紀の会展																				
貸	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	第40回 街道展		森協働個展					同志社大学 スケッチクラブ OB展					第12回 (立命館大OBOG) RUAえんじ展																				
貸	ギャラリー Create洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	五百崎 智子展 (洋画)		しがの風展 (洋画)					根垣睦子個展 (洋画) (月曜休廊)										権-kai- 京都市立芸術大学日本画 川嶋渉研究室修了生展															
貸	ギャラリーK 中京区寺町二条下ル西側 255-7518																																	
貸	ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F 2F		小林悟・佐竹龍蔵・前田龍一 三人展 (平面) (月曜休廊)					大森啓展 (平面)					武蔵篤彦展 (平面) (24日休廊)																				
貸	ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460	美しき小物たち (月曜・休廊) HINA textilestudio					華はな (百乃花)					洞院流藤野 京くみひも教室作品展					〈二三・府高〉 いくさ																	
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
貸	ギャラリー佐野 中京区寺町錦雲師西北角 221-2767	関西書票展					貸ギャラリー受付中																											
企	ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401																																	
企	ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616	「ジャパニーズモダン 江戸から現代へ2022」シリーズ③ 今尾栄仁 新作展「集」																																
貸	ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	第5回 正本後行 水彩画展		あさくらこん個展 「ある日はなし」					野田郁代展覧会 (和布創作服、小物)																									
貸	ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	中村治彦展-歴史・叡智・未来-(インスタレーション)										森本加弥乃展 (月曜休廊) CROSS (映像インスタレーション)																						
貸	ギャラリーSpace妙 左京区松ヶ崎町1-1 090-6605-0656	AKIKO HASEGAWA Print World					吉田晴夫展																											
企	ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522	日本画・洋画・古書画常設展																																
企	ギャラリーTAJIRO 東山区繩手通新橋下ル 0774-27-1733	美しいガラスアートの世界 神谷雅美										小泉広明 個展																						
企	ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展																																
貸	ギャラリー富小路 下京区富小路下ル 090-7095-0576	休廊																																
企	ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632	林 秀行展 (陶芸) (月曜休廊)																																

【他所で見た展覧会】

[響きあうジャパニーズアート：9月6日(火)～12月4日(日) 細見美術館 (京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 ☎075-752-5555)
 [博覧-近代京都の集め見せるカー]展：9月17日(土)～11月23日(祝) 龍谷大学 龍谷ミュージアム (京都市下京区堀川正面下ル ☎075-351-2500)
 [利形の守破離-利休形の創造と継承]展：8月27日(土)～12月25日(日) 樂美術館 (京都市上京区油小路一条下ル ☎075-414-0304)
 [生誕150年記念・板谷波山の陶芸]展：9月3日(土)～10月23日(日) 泉屋博古館 (京都市左京区鹿ヶ谷宮之下町24 ☎075-771-6411)
 [三千家のはじまり・江岑宗左と千家茶道の確立]展：10月8日(土)～12月4日(日) 表千家北山会館 (京都市北区上賀茂桜井町61 ☎075-724-8007)
 [千利休生誕500年・利休茶の湯の継承]展：9月10日(土)～12月11日(日) 野村美術館 (京都市左京区南禅寺下河原町61 ☎075-751-0374)
 [原案三郎が撮ったWarhol in Kyoto 1974]展：9月17日(土)～23年2月12日(日) ZENBI-鎌倉良房-(京都市東山区祇園町南側570-107 ☎075-561-2875)
 [こわくて、たのしいスイスの絵本]展：9月17日(土)～12月25日(日) アサヒビル 大山崎山荘美術館 (京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 ☎075-957-3123)
 [没後25年・麻田浩展～心に映る風景～]：8月6日(土)～10月10日(日) 南丹市立文化博物館 (京都府南丹市園部町小桜町63 ☎077-68-0081)
 [石と植木]展：9月23日(祝)～11月20日(日) 滋賀県立美術館 (滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1 ☎077-543-2111)
 [静中動：韓国のスピリットをたどる一開かれた陶のアート]展：9月17日(土)～12月18日(日) 滋賀県立陶芸の森陶芸館 (滋賀県甲賀市信楽町勅旨 ☎0748-83-0909)
 [ボストン美術館所蔵、THE HEROES-刀剣×浮世絵-武者たちの物語]展：9月10日(土)～11月20日(日) 兵庫県立美術館 (神戸市中央区脇浜海岸1-1 ☎078-262-1011)
 [開館10周年記念・横尾さんのレレット]展：8月6日(土)～12月25日(日) 横尾忠則現代美術館 (神戸市東灘区原田通3-8-30 ☎078-855-5607)
 [初代尼崎市長・櫻井忠剛と勝海舟・川村清雄]展：10月1日(土)～11月30日(水) 尼崎市立歴史博物館 (尼崎市南城内10-2 ☎06-6489-9801)

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		土		(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月			
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																																		
貸企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F 松谷武判・ 神野立生 -パリで 出会った 二人展-	八田 哲展 -京都想々- (日本画)					NY 作家6人展 第9回 上杉 尚展 (水彩 他)					青木 敏郎 個展 (油彩・ドローイング)					新制作協会 関西会員 展 (油彩・アクリル・ ミクストメディア)																		
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜・休廊)																																		
貸企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F 梅澤豊・山中隆 (平面・立体)	梅澤豊・山中隆 (平面・立体)					グレン・カウフマン					中川裕孝 (テキストイル)					宮本みつる (油絵)																		
貸企	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710	貸ギャラリー受付中																																		
貸企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	やわらかい ガラス 高橋直樹展	休廊					風間紀子 (オリジナルウェア) / Tulla (ストール・いろいろ) / cpkoo (自然布の秋の洋服)					装展 (月曜休廊)																							
貸企	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「龍馬と酢屋」常設展																																		
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	藤井蓮作品展					常設展 (水曜・日曜休廊)																													
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	甲斐扶佐義写真展「刹那拾遺-日々のあわいに」 (10/11、10/17休廊)																																		
貸企	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	抹茶缶 (作家物・窯物)、和洋陶器・ガラス・絵画など掘り出し価格にて (11日・17日・休廊)					〈秋の感謝SALE〉					〈クリスマスの準備展〉(31日休廊) クリスマスに最適な器・ガラス・ オブジェなど順次展開					→12/24																			
貸企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中																																		
企	京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 253-1509	京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展「うつしのまなざし」(月曜休廊) 川田知志 入江波光、岩井弘、岩倉壽、木下章、林司馬、宮本道夫																																		
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	アーティスト・イン・レジデンス2022：ジェナ・リー滞在制作																																		
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	耐震改修工事のため、当面の間常設展のみ (水曜休廊)																																		
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		土		(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月			
貸企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F (1F) 写真	清永安雄作品展																																	
貸企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	2F 今若明彦 写真展 「くつきへ」	是永日和写真展 「日は好日」					高橋怜子写真展 ALICE IN WONDER SEA					杉浦正和写真展「迷幻街」																							
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	京焼作品 常設展																																	
貸企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	第7回 初音学区 文化作品 展	支部合同作品展					休 館					植物画教室展					あ〜とていちゃ〜 展					開館時間、開催期間は変更になる可能性が あります。 最新の情報は当館HPにてご確認ください。													
貸企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	安藤榮作展「斧遊び」 (木彫)					ハレルヤ 羊飼いの服					大黒浩子 「猫がいる日常」					橋本明子 日本画展																			
貸企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																																		
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展 (日・祝休廊)																																		
企	大雅堂 東大路通福園上ル 541-7388	嘴矢祭-其之百二十一- 北島文人展 10:00~18:00 会期中無休					円祭 其の十七 千住博展 開廊50周年記念展					→11/13																								
企	玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展/美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																																		
企	梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	日本画・洋画常設展																									森萌衣 (お伽の埴塀)					→11/5				
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和・名作発掘品展 (日曜・月曜休廊)																																		

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、
すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>